

ID ^{注1)}	031120	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
-------------------	--------	----------------------	---	---------------------	---	---------------------	--	------	--

報告書名称 /調査名称	白神山地世界遺産地域の森林生態系保全のためのモニタリング手法の確立と外縁部の森林利用との調和を図るための森林管理に関する研究報告書（平成10～14年度）／白神山地のセンチュウ類						発行年月/報告年月	
							2004年	2月
							資料形式 ^{注2)}	報告書
調査機関	環境省自然環境局 東北地区自然保護事務所			委託機関		穴田幸男(群馬県農業技術センター)		
調査開始年	1999年	10月	調査期間	1999年	10月	～	1999年	10月
調査頻度 ^{注2)}	—	—	調査時期 ^{注2)}	秋	—	—	—	—
モニタリング計画	2012年3月	策定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(1)

調査箇所・範囲 ^{注3)}	目的・調査手法
<input checked="" type="checkbox"/> 核心地域 <input type="checkbox"/> 緩衝地域 <input type="checkbox"/> 周辺地域 <input type="checkbox"/> GPS等の位置データあり	1)調査場所および調査方法 線虫調査用試料の採取は、以下のように行った。 ①櫛石山南斜面の森 ブナ・シロモジ・エゾユズリハの根圏(深さ5～10cm)土壌、および5カ所からの土壌をひとまとめにし、1試料とした。試料数3点。 林床の砂礫土上に生育するコケのマット。試料数1点。 ブナの倒木上に生育するコケのマット。試料数2点。 ②モニタリングサイト ブナ・ササ根圏土壌。試料数3点。 ブナの倒木上に生育するコケのマット。試料数2点。 ブナの樹幹(地表面からの高さ20cm)上に生育するコケのマット。試料数1点。
<p>※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。</p>	

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

1)優占種
 ①櫛石山南斜面
 櫛石山南斜面のコケのマット内では、Mesodorylaimus sp.(この集団では雄が検出されないため、未同定)が圧倒的に優占する。樹木の根圏ではEudorylaimus sp.(やはり雄が検出されないため、未同定)が数的には優占する。
 ②モニタリング・サイト
 モニタリング・サイトでは、土壌中においては、Eudorylaimus sp.(この集団では雄が検出されないため、未同定)が圧倒的に優占する。但しどちらの林も、10月上旬における1例の調査に過ぎず、各季節ごとに調査することが必要かと思われる。

問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ※「原本(データ)の帰属について」
-------	--

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備 考